令和６年度都立大山高校定時制における教科指導の重点

教科	重点課題	取組	発展的取組
国語	・基礎・基本的な内容の定着	・高校入学前までの内容も含めた基礎・基本的な事項の学習を反復・継続させる。 ・問題プリントや「授業確認シート」を活用し、「書く」課題に毎時間取り組ませる。	・「書く」課題の内容の共有・発表を生徒自身に行わせる（グループワーク、ICT機器）。
地歴公民	・基礎的・基本的な知識技能の定着	・基礎知識の反復学習。 ・各科目と実生活をリンクさせ関心を高める。	・各科目で扱う事象と現代の諸課題との関連性を探究し、その原因や解決方法などを探る。
数学	・基本的内容の徹底	・高校での内容だけでなく、小学校や中学校で習った基本的な内容に重点をおいた授業の実施。	・問題解決の過程において、驚き・面白さを味わうことができるような授業の実施。
理科	・観察・実験を行う ・基礎・基本の定着	・理科に興味を持つような観察・実験などの体験活動の実施。 ・義務教育で扱った内容の復習も含めた基礎・基本の定着を目指す授業の実施。	・実験のレポートをICT機器を使ってまとめさせ、実験結果・考察の共有・発表を生徒に行わせる。
保健体育	・体育では、身体を動かすことの楽しさ、喜びを味わうことができる。 ・保健では、健康のための基礎基本を身に付ける。	・体育では、スキルテストにより協調性を高める内容を取り入れるとともに、体ほぐし運動を行うことによい、より良い身体活動ができるようにしていく。	・体育では、個人カードを活用した授業を行う。バレーボール大会を実施し授業の成果を確認するとともに、仲間と協力して取り組む機会を設ける。 ・保健では、調べ学習等を行うことに
英語	・基礎力の定着	・基本的な語彙や表現の確認テストを実施。 ・音読やペアワークの機会を設ける。	・ALTやTeamsの音読機能を活用し、学習した語彙や表現を使い、英語でコミュニケーションを取る機会を増やす。